

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度 第7回 栃木中央地域会議
開催日時	令和元年 11月21日(木) 18時30分開会～20時33分閉会
開催場所	市役所本庁舎 3階 正庁
出席者及び欠席者氏名	別記1のとおり
事務局職員職氏名	別記1のとおり
その他出席者等	別記1のとおり
会議事項	別記2のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	なし
会議の経過(議事の要旨)	別記3のとおり

---

別記1 出席者及び事務局

○出席者（委員）

委員 大栗 利夫	委員 大塚 昌峰
委員 岡田 真由美	委員 片柳 よし子
委員 佐山 正樹	委員 杉戸 洋
委員 関口 利枝	委員 高橋 正行
委員 玉田 浩	委員 野口 邦子
委員 林 美佐子	委員 古澤 利夫
委員 村田 弘子	

○欠席者（委員）

委員 石河 不砂	委員 坂本 智哉
委員 木村 隆夫	委員 藤沼 トヨ
委員 松本 真由美	

○事務局

【総合政策部】

横倉 延男（地域づくり推進課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長）  
熊谷 充晴（地域づくり推進課副主幹）  
関口 智（地域づくり推進課主査）  
臼井 崇倫（地域づくり推進課主事）

○その他出席者

なし

別記2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

4 議 事

(1) 地域予算提案事業の検討

(2) その他

5 連絡事項

(1) 次回の開催予定について

- ・ 次回開催予定 令和2年1月16日（木） 18時30分～  
栃木市役所本庁舎 3階 正庁

6 閉 会

別記3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
佐山会長	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ 急に寒くなって参りましたが、皆さんお身体の方はいかがですか。洪水関係ですとか中央地域会議で決めなければならないことがたくさんあるかと思ひます。では、議事に入らせていただきます。</p> <p>3 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大栗委員より栃木市斎場再整備委員会に参加した旨の報告があった。</li><li>・ 大塚委員より蔵のまち美術館の運営協議会に参加した旨の報告があった。</li></ul>

佐山会長	<p>4 議事</p> <p>(1) <u>地域予算提案事業の検討</u></p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【地域予算提案事業の検討について事務局が説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風第 19 号の被災により地域予算については庁内調整できていないことを報告</li> </ul> <p>◎台風第 19 号の被害を通しての所感</p>
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の台風被害を受けて対応策をある程度シミュレーションしておき、今後起こり得る災害に対応できるように検討しませんか。行政で出来ることは限定されてくると思いますが、被災された方もそうでない方もお一人ずつご発言ください。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の広報に中央小学校へ避難するよう記載されていましたが、既に河川の水が溢れている状態では避難したくても出来ません。ハザードマップの避難場所を修正して欲しいです。</li> <li>・平屋で一人暮らしの高齢者の方には中央クリニックに避難してもらえるようにしましたが、いざという時どうするのかと思いました。</li> <li>・被災後の対応について 4 年前の水害時、1 週間ほど経ちますと腐った様な臭いが漂っていましたが、災害ごみを捨てる場所が無く、市の方において道路に出していました。</li> <li>・前は災害ごみを人に頼んで約 3 日で全て出しましたが、藁は濡れているうちに対処しないと泥と一緒に固まってしまい、片付けづらくなりました。今回は濡れているうちに藁だけ片付けました。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央小学校が避難場所としてありますが、浸水してしまい避難場所として成立していません。避難所に移動するにも増水しているので危険が伴います。他の場所を検討する必要があるのではないのでしょうか。</li> <li>・車を高台に避難させようとして市役所の駐車場が全て埋まってしまいました。車を置けなかった人は水浸しになって使えないうえに、代車も間に合っていない状況です。</li> <li>・巴波川の水深が低いので市で川底を浚渫していただきたいです。川底の泥を蔵の街遊覧船が自主的に掻き出している状態です。せつかくの観光資源なので、遊覧船の運行が復旧できる方法など検討していかなければと思います。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小平橋の川沿い周辺住宅は高低差があり、東側にある住宅の被害が多いです。前回よりも被害は少なかったように思いますが、橋の掛かっていない所で越水してしまいました。事前に土嚢を積むなどして対策していれば、何軒かは被害も避けられたのではないのでしょうか。</li> <li>・SNSに1時間ごとの川の水域の写真を載せたところ、意外と反応がありました。河川の越水が事前に分かれば避難を開始する目安になると思います。河川の情報を目で確認できるようなカメラを設置していただきたいです。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床上浸水はしましたが、前回の経験があったので漏電しないように処置をし、貴重品などを高い位置に上げ、近所にも注意喚起など指示して備えていました。</li> <li>・避難するにも水が迫ってきて動けないため出られません。平屋のお宅などは近所とお互いに協力して、2階、3階のお宅に避難すると良いと思います。</li> <li>・新築の家の造りは床下が狭いため泥水がなかなか取り除けません。床下の泥水の掻き出しを業者に頼むにも時間がかかるらしく、自分たちで掻き出しましたが1ヶ月かかりました。友人から手を借りたおかげで片付きました。</li> <li>・頭で分かっているけど身体が動かないこともありますので、指示してもらうのはありがたいです。自治会ではお互いが日頃から防災について考え、予備費があった場合に準備・防災に備えての資金に使用出来たら良いと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中に町内を見回りしました。町内の方が行くところが無いということで神明神社の社務所を避難所として開設し、避難してもらいました。</li> <li>・前回の災害時に巴波川が越水してしまったため、嵩上げ工事をしていただいたのですが、今回の台風でまた元に戻ってしまいました。</li> <li>・1時過ぎ頃、水が増え始め小平町にある低い橋から嘉右衛門町の方へ越水しました。柳橋の方は永野川から水が逆流するため、堀に水門を付けないと今後このような災害が起きた際に対応できません。</li> <li>・嘉右衛門町の中でも高い場所と低い場所の被害の差が大きく、事前に嵩上げするなどして準備していました。</li> <li>・テレビで情報を確認し行動していましたが、巴波川が越水したという情報のみで、その他はなにも流れてきませんでした。</li> </ul>
佐山会長	<p>行政に任せられる部分と市民が何とかしなければならぬ部分があると思いますが、そこも考慮して何かしら提案できればと思います。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビで栃木市の被災状況が流れていましたが、巴波川が氾濫したという情報のみで画面が替わらないため、永野川の氾濫は伝達されておらず、市民に周知されていませんでした。避難を促すだけではどう動けば良いのかわかりませんでした。</li> <li>・屋外スピーカーによる避難勧告はありがたかったのですが、すでに道に水が流</li> </ul>

委員	<p>れており避難できる状態ではありませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・永野川に関して来年も雨が集中的に降った場合に、現在の状態では今以上に洪水被害が拡大すると思います。来年も同様な災害が起こると思いますので、今後の対策を自治会だけでなく市全体でとっていきながら、正しい情報を周知し、足していくことが大切だと感じました。他地域と色々情報を交換し合って、繋がりを深めていくのも手立てです。</li> <li>・台風被害でいつまでも落ち込んでられない栃木市のイメージアップを図るなどして対策との両面が必要だと感じました。</li> </ul> <p>・ハザードマップがいい加減で避難しづらいです。避難場所が被害を受けているため、十分に安全を確保できません。私の地域だと長寿園でしたが、永野川の向こう岸なので川が氾濫し避難所に行けません。栃木農業高校だと土砂が崩れてきやすい難点があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと自治会の方で高台に行くように知らせていましたが、避難できる場所をそれぞれで考えておいた方が良いと思います。</li> <li>・神戸のボランティアの方に廃車等の対応をしていただき、早急に片付いて大変助かりました。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央小には台風が来る前日の 11 時に避難所が設置され、教育委員会から連絡が来ましたが、今後の雨量によって体育館が危険になった場合、垂直避難をするためには夜中に学校を開ける際に警備を解除する必要があり、警備会社にも報告し対応しました。</li> <li>・自宅で様子を見ていましたが、避難者が大勢来ており体育館では収容しきれないというえ、垂直避難をしなければならない状況でしたので許可を出しました。</li> <li>・次の日行ってみると、校庭は浸水して藁があふれており、特に校庭の西側に巴波川からの泥水が流れ込んでいました。数十名で片付け作業をしましたが、ゴミを拾うのに精一杯で泥までは撤去できませんでした。人力では限界を感じました。</li> <li>・自動扉の中には泥が入りこんでいました。自動扉が閉まっていたおかげで、浸水を免れました。</li> <li>・避難してきたことによって車をダメにしてしまい、避難所につきましても中央小は適切なのか疑問に思いました。</li> <li>・中央小は 4 階までであるので垂直避難するのは有効だと思いますが、何を優先させるのかが重要であり、道路が冠水しているにも拘わらず危険を冒してまで避難する必要があるのか疑問です。ただ、垂直避難のできない平屋の家や高齢者で避難が困難な方の避難についてどう対応するかが今後の課題だと思います。</li> <li>・家の中で垂直避難をする場合、片付け作業しながら日常生活ができる範囲で上に物を運び、作業しやすい環境を作るのが重要だと感じました。</li> <li>・体育館もますます寒くなりますし、市民交流センターができると垂直避難をす</li> </ul>

委員	<p>るにしても個室になっているのでプライバシーも守られるため、最適だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の災害で第7地区の中で一番被災したのが錦町でしたが、今回は早めに対応したところ錦町が一番被害にあわずに済みました。</li> <li>・一人暮らしの平屋の家は一軒ずつ確認をとりまして、どう対応するかお聞きし中央小へ避難するよう促しました。</li> <li>・柳橋町の方々は自分たちの地区には被害が来ないだろうと過信していたようですが、台風が来てから水の流れが早かったと仰っていました。私のところでも一度雨が弱まったと思ったらいつの間にか床下に水が来ており、気付くとテレビ台の花瓶にまで水が入り込んでいました。水の恐ろしさを改めて実感したとともに、過信してはいけないと思いました。</li> <li>・畳をどうしたらいいかわからず、ボランティアに連絡したところすぐに来て出してくださって助かりました。高齢者の方々からはボランティアについての問い合わせもありました。</li> <li>・テレビ取材を依頼され断ったところ、栃木市があまり被害を受けたように放送されていませんでした。</li> <li>・対策をあらかじめ頭に入れていても実際に動くとなると全然違うので勉強し直さなければいけないと感じました。被災のことで頭がいっぱいだったので、このような話す場を設けていただき本当に良かったです。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身が栃木市は安全な所だと安心していたので火災保険にしか入っておらず、水害保険の加入しておけばよかったと感じました。幸いなことに被害はありませんでしたが、家の中では屋外スピーカーによる情報が全く聞こえなかったもので、テレビ、携帯電話から情報を得ていました。</li> <li>・避難するにも自己判断でいいのか、高台に逃げようと他地域の避難場所に行つて受け入れて貰えるのかどうかわかりません。こういった対策に対して認識がなかったのかと考えていくべきだと思います。</li> <li>・自衛隊やボランティアの方々の活動など誰がどのように伝達していくのか考えなければならぬと思いました。加えてボランティア活動のことですが他県から来ていただく前に市内のボランティアが動けないのでしょうか。</li> <li>・車が無事な人はいいですが、食料品の確保はどのようにすれば良いのでしょうか。また、避難所の食料品は十分に確保されているのでしょうか。</li> <li>・避難所に居られる期間がどのくらいなのかわかりませんが、被災された方の住む場所を市営住宅で斡旋しているにも拘わらず、空きが6軒ほどしかありませんでした。アパートを借りられるように手配すべきではないのでしょうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災は免れましたが、前回自宅前の赤津川が氾濫し庭が被害にあったため、気になり様子を見に行きましたが、外に出るのは危険だと肌で感じました。</li> </ul>

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒関係の放送をする際に屋外スピーカーの音が小さく全く聞こえないため、すべての住宅にまで情報が回って来ません。第3小学校から出る屋外スピーカーだと思えます。</li> <li>・テレビ放映に栃木市の被災状況とはあまり関連のないことばかり重点的に映り、佐野市の被害状況が重点的にクローズアップされていました。だからボランティア団体が栃木市に来ないのかと思いました。</li> <li>・店の方に被害は無かったので冷蔵庫にあった食材を持って近所を回りました。</li> <li>・数日たってお見舞いに行ってみると、柳橋で床下の泥水を掻き出していました。水の恐ろしさを改めて感じました。</li> <li>・土嚢代わりにゴミ袋に水を入れてシャッターの所に置いたのが水除になったおかげで被害を免れました。</li> </ul>
<p>佐山会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人として、地域として、市として、国としてできることそれぞれあると思いますが、発言していかないと何も変わりません。被害にあった所を克明に明示することは行政単体としてやるのは非常に困難だと推定します。</li> <li>・栃木工業高校近くの鉄筋事業部が2m水没しました。永野川の土手に水が溜まり、翌朝行ってみるとヘドロだけが溜まった状態でした。先程出たような災害対策の知識を共有できたらと思います。</li> <li>・水位が上がっても大丈夫なように防潮板を自作し台風には備えていましたが、11時過ぎた頃になりますとオーバーフローしてしまいました。片柳町でも流路によって被災の差がありました。水害保険で補填できる方はいいですが、そうでない方が大半かと思っています。</li> <li>・10代から記し続けてる日記や大学時代の研究ノート、貴重書などの書物が800冊ほど駄目になりました。翌朝は庭にはタイヤが2つ、藁が多数落ちてある状態でした。</li> <li>・既に水がせり上がっている状態でしたので、避難所に行けませんでした。災害時に動く行動パターンを事前に決めるべきだと感じました。</li> <li>・議事録では無く「語り部」など何らかの形で地域の遺産として残したいと思いました。一般の方に災害時の行動マニュアルを配るなど地域会議の予算として何らかの形で考えるのはどうでしょうか。</li> <li>・山は保水力が無く、川は一気に氾濫しますので、暫く気候変動が起こり得ると思います。対応できるようにある程度系統立てて、行政任せでなく地元と行政の連携の中でやっていかなければなりません。</li> <li>・江戸時代の地図を見てみると水害があった付近には全く家がありません。高台の方に家が密集されているのがわかりますが、これから家を建てる時に金銭的に余裕がないと災害対策ができないので、地域と連携してどういった防御策をしていくのか。少なくとも自己防衛できる目安をうまく集約して、知恵として市民を助けられる様にできればと思います。その他何かありますか。</li> </ul>



委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の会議内容を地域会議の委員さんに周知していただきたいです。</li> <li>・市役所が避難場所にならないのは何故でしょうか。避難所になっていないのは、栃木市のみです。</li> </ul>
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害となれば高低差 1mの災害かと思います。蔵の街広場、旧警察跡地など開放すれば一般の車を収容できます。どこに行くのが安全か詳細に検討し、皆さんの意見を集約して、この地域会議として地域予算で市民の経験を共有財産にできるようにしていけたらと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所につきましては現在片付け作業が終了していないため、分析に入れる状態ではありません。しかし、職員も災害がいつでも起こり得ることを想定して動いております。今回の意見についても職員の要望、意見等も併せてそのまま危機管理課へ提出したいと思います。ただし、河川については管轄があり、中には市を通り越して国レベルの話になってきます。</li> <li>・令和 2 年度の二か年計画の一部はスケアードストレートとして計上し、確定いたしました。令和 3 年度の絞り込みの矢先、今回のような話となり地域予算 700 万弱金額がありますが、本日の会議を受けて考えてみたらどうだろうかというのが会長の話だったかと思います。通常 4 月から始まり 9 月の予算提案という流れでした。方向転換して今回の台風 19 号を受け地域予算の検討をするにしても十分に時間があり、1 月から始めることもできます。</li> <li>・次回 1 月開催とありますが、その時までには前回いただいた宿題、今回の会議録等をお配りできればと思います。その 2 点を分析していただいて改めて令和 3 年度の地域予算を考えていければと思います。</li> </ul>
佐山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域によって被害の大きさが違い、それぞれの地域の共有した認識があるかと思います。行政からするとやりにくいと思いますが、地域として集約するのは今がチャンスだと思います。</li> <li>・皆さんがお気づきになられた点や周辺の方々からお聞きした改善点などを集約し行政の方に挙げていくと、行政の大きな指針になりやすいのではと思います。より良い方向に進めるために皆さんからの知恵を拝借し、予算のいくらかで例えば備蓄品を増やしたり、本を配ったり考えてもよろしいのではと思ってお話させていただきました。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの情報が流れてきませんでした。どんな情報が入っていたのでしょうか。永野川などの情報が流れず、気付くと畳が浮いてたというお宅がありました。情報を集約して一般に流していただきたいです。</li> <li>・土嚢袋、消毒液を被災地の自治会長に配布してください。必要な時に無い状態が続いたので、常に準備しておいてほしいです。</li> </ul>

